

リフレケア通信 125号

2019年10月 雪印ビーンスターク株式会社
ライフサイエンス事業部 発行

月和名の由来：10月「神無月」…神を祭る月で「神無月」という説が有力です。水無月と同じく「無」は「ない」という意味ではなく、「の」という意味で、「神無月」は「神の月」になります。他に雷がならない月「雷無月(かみなしづき)」や新穀でお酒を醸す月「醸成月(かみなしづき)」が転じたという説も。

シリーズ第19弾〜3
口腔ケア最前線

③災害時の口腔ケアについて

ごとう だい 後藤大先生
医療法人明誠会 サンデンタルクリニック 院長(宮崎県宮崎市)

近年、歯磨きでお口の中を綺麗にする事の重要性や、食べたり飲み込んだりする機能を維持することの大切さについて医療や介護の現場にて浸透しつつある中、一方で災害発生時の避難所においても同様に考える必要があることはまだまだ知られていないように感じます。

災害時の口腔のケアの重要性について明らかになってきたのは、阪神淡路大震災からでした。災害関連死で亡くなられた方全体の24%、約4分の1の方が肺炎が原因で亡くなられていました。その要因として季節柄インフルエンザの流行や長期間に及ぶ避難所生活におけるストレス、お口の中を清潔に保つことができなかった等が考えられています。また、被災規模の違いはありますが東日本大震災後、ある地域において3ヶ月の間に肺炎により入院した患者が前年と比べ増加し、避難所からの入院以上に介護施設からの肺炎が原因で入院した症例の方が死亡率が高かったというデータもあります。

被災後の口腔内環境や機能の悪化だけが肺炎患者増加の原因ではありません。平時と同様に栄養や呼吸の状態、免疫力の低下について整えた上で、口腔内を清潔にするお手伝いできたらと考えています。さらに多職種の方々と繋がり災害時に活かし情報を共有し、災害を乗り越え生き残った方々が肺炎を原因とする災害関連死により命を失うことがないように皆さんと一緒にサポートしていけたらと思います。

災害発生時のための物を備えることはとても大切ですが、日本全国どの地域においても普段からの「繋がり」も立派な備えとなり、後から振り返ら笑は一番の備えだとなるよう地域の方々と繋がり続け、診療にあたりたいと考えています。

不幸にして災害が発生し、避難所等において体が不自由で寝たきりの高齢者の方で歯磨きができなそうであったり、配布されたお食事を飲み込みにくそうにされている方などいらっしゃいましたら、被災地域の歯科医師会や歯科衛生士会または歯科関係者に避難所などでお声かけいただき繋いでいただくことで助かる命があるかもしれません。

とは言え支援する側になるであろう皆さんの健康もとても大切です。水がない時の歯磨きについて少しでも思いを巡らせていただき、ご家族人数分の歯ブラシや口腔ケアシートなどのグッズをこの際に備えてみませんか？

次回もお楽しみに！



【子育てと積み木階段と、スタッフ教育のお話】

にしより あや 西依 亜矢先生
株式会社Dental Hygeia代表取締役 歯科衛生士

息子はもうすぐ3歳、最近いろんなものを積み木のように積み上げ階段をつくり、高いところに登るようになりました。「危ないでしょ！」と言いたいところですが、届かない高いところにどうやって行くかを考えるせっかくのチャンスと意欲を潰してしまうかなと悩ましいところです。

スタッフ教育でもそのような場面はよくあります。「今はこっちを先にやってほしいのに」「一生懸命やってるのは分かるけど、時間かかりすぎ」……。イライラしてしまうこともありますね(笑)。

そんな時は“6秒待つ”その状況を見守ることが本当に不可能なのを考えてみます。「まあできなくはないけど」と思ったときは頑張ってる見守ります。そして落ち着いて話せるときに、どうするべきであったか納得するよう説明し正しい判断ができるよう導けば、モチベーションを下げずに能力を伸ばすことができます。

子育てもスタッフ教育も、一朝一夕にうまくいくものではありません。私も心理学・コーチング・統計学・アンガーマネジメントなど、様々な学問と素晴らしい出会いにたくさん助けられました。これからその経験を、皆様のお役に立てていきたいなと思います。



口腔ケアセミナーin郡山セミナーレポート

東北営業所 上遠野 久美子

7月7日(日)郡山市のビッグパレットふくしまにて、「リフレケア口腔ケアセミナーin郡山」を開催し、医療・介護関係の方々186名にご参加いただきました。

前半は地元いわき市松尾病院の摂食・嚥下障害看護認定看護師 須藤るり先生に「臨床での口腔ケアの現状と課題～高齢者の口腔内環境を整えよう～」について、口腔ケアの必要性やご自身の病院の取り組みなどをデータやアンケートを交えながらご講演いただきました。

後半は東京都健康長寿医療センター研究所の歯科医師 枝広あや子先生に「療養中の認知症高齢者における口と食の支援」について、認知症の基礎知識から口腔ケアのポイントまで軽快に時には笑いも交えてご講演いただきました。

ご参加の皆様から「学んだことを明日からの業務に早速取り入れたい」「リフレケアについて深く理解できた」など、嬉しいお言葉を頂戴いたしました。今から実践できる関わり方や専門的なポイントを聞くことができ、とても興味深く、お役に立つ講演になったと思います。今後もセミナー開催の際には、たくさんの方のご参加をお待ちしています。



講演の様子

11月の学会情報

関西オーラルマネジメント
研究会 第14回講演会
3(日)
大阪医科大学
(高槻市)

第19回日本訪問
歯科医学会
10(日)
御茶ノ水ソラシティ
(千代田区)

第36回日本障害者
歯科学会総会
および学術大会
23(土)-24(日)
長良川国際会議場、
他(岐阜市)